

夢窓幼稚園通信第35号

2024年8月30日

夏休みの終りから 2学期の初めは 台風情報との
にらめっこの日々。

近づいてくる 10号による 大きな被害が出ないことを
切にせつに願います。

* * * * *

夏休みに取り組もうと思っていた いくつかの目標が、
ほとんど手をつけられないうまま いよいよ 休みが終ろう
としています。後悔しても仕方ありませんから、今から
リセット、仕切り直しです。

「お泊り保育」は 台風のはじめの頃の子報に従い、予定変更
... 実施日の前倒しと内容のカット・時間短縮を行いました
今回 実施できなからた 「山と滝へのお出かけ」は、秋の遠足
に持ち越すことで 楽しみを先送りし、園の夜から朝を体験
日が覚めてからは、ゆったりとした時間とすることにしました。
そのことにより 大人はスケジュールをあまり気にしない
のどかな気持ちとなり、朝ご飯も 貴重なのんびりの時を
過ごせた気がします。

私は、おそらく 20年くらい前からでしょうか、「ゆっくり ゆったり」
という言葉をよく使うようになりました。

園庭奥の園長室の「ゆゆの部屋」も、訪ねて来られた方が、
ゆっくり ゆったり気分であっていただけるように、との願いで
名付けました。

「そういう園長こそ、「ゆっくり ゆったり」とかけ離れた過ごし方を
しているのでは」とよく笑われますが 私は誰かがそう
なってくれたら! と思っていましたし、私自身も忙しい生活の
中でも、ほんの少しの時間 特別な「ゆっくり ゆったり」の気持
ちでいられるスペシャルタイムを確保してきたつもりです。

しかし目の前でこちらがバタバタしていたら、訪ね人は心の底からゆったりのだかにもしてられませんわ、
そう口にしている私自身が身をもって、現代の大きな課題と目標「あわただしさからの私の解放」「心を失う忙しさから人間性ゆたかな生活への回帰」を、そっと静かに求めることも大切な気がしてきました。

この夏、ちっとも予定通りには過ごせませんでした。ドラマチックな出会いやかけがえのない体験ができた大切な夏時間ではありましたが、
しかも目標が果たせなかった代わりに、時代の課題にして素朴なる生活習慣の宿題を、2学期の始まりに当り持つことができたので幸せですね。

「私と社会に結びをつくる」＝「社会を私の身体と思える」ことはうれしいことです。

* * * * *

さあ、2学期が始まりました。

台風をはじめ、いつか必ず来ると言われている大きな地震、不安定な世界情勢、少子化の社会・・・と、教えきれないことが目の前に横たわっています。

それぞれの「私」はどう在りたいのでしょうか、一人ひとりの「私」に何ができるのでしょうか。

なかなか難しい問ですが、問続けていたら、小さな糸口が見つかるかもしれません。

夏の光を浴びたそのエネルギーを依りどころに少し動き出せるかもしれません。

そして先ずは私たちに託され与えられた、未来の確かな証であり希望である子どもたちが、ほんとうにゆたかでたのしい一日いちにちを過ごせる環境を力を合わせて作りたいと思います。

そのためには、みんなで私たち自身が身をもってこの新しい秋をよるこびの中でゆっくりゆったり味わい、体験できることを何より願っています。

園長 分光泰雄